

2013年（H25年）9月28日（土）

同窓会だより

第65号

発行

長野県松本ろう学校同窓会

松本ろう学校 第43回 はと祭

松本ろう学校文化祭『第43回 はと祭』について、下記の通りお知らせします。尚、母校からチラシ（プログラム）を頂きましたので、配布いたします。是非『はと祭』にお越しください。

《日 時》 10月13日（日）校内公開

10月13日（日）一般公開

《場 所》 長野県松本ろう学校

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘 820 番地

FAX0263-85-1411



同窓生作品展

◆趣味で作られた『作品』（絵画、写真、工作など）を沢山出品してください！！

◆ビデオ上映「同窓会活動の様子」などを行いますので、是非見に来てください！！



喫茶コーナー

▼10月13日（日）11:00 ～ 14:00

◆同窓会として、コーヒー販売担当になりましたので、是非お出かけください。

■同窓生作品展の準備について

10月11日（金）の夕方（4:00～5:00）、12日（日）の朝（8:30～9:30）

母校・会議室にて準備を行いますので、作品を持参して展示してください。

※同窓会係 ⇒ 上嶋太先生までご連絡ください。FAX0263-85-1411

～大勢の皆様のご来場をお待ちしております～

松本ろう学校だより



第 43 回はと祭にむけて

長野県松本ろう学校長 米 持 絹 子

猛暑続きの夏に別れを告げるかのように、涼しい風が心地よく吹き始めました。会員の皆様におかれましては、お変わりなく、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。学校は例年より少し長い夏休みが終わり、8月27日には全員元気に2学期をスタートいたしました。2学期の最大の行事は第43回はと祭です。今年のテーマ「友愛」～みんなで心をついに～の下、一人ひとりが自分の力を精一杯発揮して取り組んでいます。今年春の運動フェスティバルがなくなり、そこでのレクリエーションをはと祭の全校レクリエーション「友遊タイム」としてリニューアルいたしました。是非お出かけいただき、応援いただきますよう心よりお待ちしております。

はと祭 10月13日（日）一般公開

松本ろう学校高等部生徒会長 丸 山 達 也

第43回はと祭実行委員長 中 山 浩 輝

同窓会の皆様、残暑お見舞い申し上げます。今年もはと祭の時期が近づいてまいりました。今年のはと祭のテーマ「友愛～みんなの心をついに～」には、みんなの心をついにし、友情を深めよう、という願いが込められています。

今、本番に向けてステージ発表の練習を一生懸命やっております。同窓会のみなさん、ぜひ今年もはと祭に来て下さい。児童・生徒一同、お待ちしております。

■ 「同窓会記念樹の標柱（石）」建て替えについて



昭和3年松本ろう学校創立以来、今年で85周年目を迎えます。「同窓会50周年記念樹」と「同窓会60周年記念誌」の標柱（木）が古くなり文字が読めなくなったりなくなったりしてしまっています。そこで「石の標柱に建て替えること」について同窓会定期総会で賛同いただきました。

はと祭までに、「記念樹の標柱（石）」建て替えることになりました。

母校文化祭はと祭にご来場の折には、標柱（石）を見に来てください。

お悔やみもうしあげます



元同窓会長・降旗 久 さん

降旗久（ふりはた・ひさし）さんが、去る5月21日（火）、病気のためご逝去されました。70歳でした。

降旗さんは、松本ろう学校同窓会長（10代）、全日本ろうあ連盟理事（高齢部長）等のご活動にご尽力されました。

●同窓会役員関係者の葦澤正敏、内川清和、中村諏訪子、内田博幸らが、5月24日（金）葬儀告別式に参列しました。

弔 辞

降旗久様が亡くなられたとの知らせを受け、大変に驚き悲しみと残念な気持ちでいっぱいです。

降旗さんにおかれましては、全日本ろうあ連盟、北信越ろうあ連盟、長野県聴覚障害者協会の役員として長年ご活躍され、その発展のために尽くされ、私たち後輩を導いてくださいました。

また、母校松本ろう学校同窓会長を十年以上お勤めになられ、特に同窓会創立六十周年記念事業として 待望の初代校長小岩井是非雄先生の銅像の建立のため大変なご尽力を賜りました。

ここに敬意と感謝を申し上げます。

会議の中では、沢山のご指導を頂き、特に「ほう・れん・そう」の大切さを教えてくださいました。

これからも降旗さんから頂きました協会、同窓会への思いを大切にしながら、活動を引き継いでまいります。

どうぞお見守りください。

長い間役員活動、お疲れ様でした。

ここに深く感謝を申し上げます、弔辞といたします。

平成二十五年五月二十四日

長野県松本ろう学校同窓会代表 内田博幸

降旗 久さんを偲んで

元長野県聴覚障害者協会理事長 山岡 高 弘

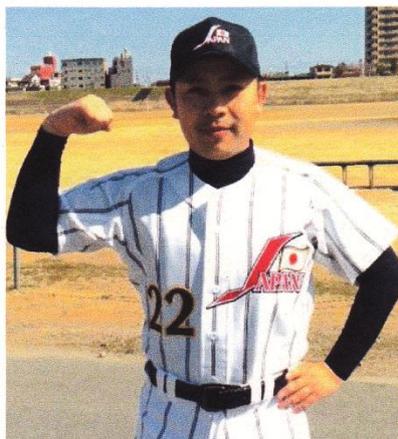
降旗さんとの出会いは、松本ろう学校時代に私が生徒会長（中学部3年）降旗さんは副会長（高等部3年）いわば先輩後輩の関係。お互いに地元協会役員を長い間務め、私が協会理事になった時、理事願望の降旗さんを推薦し、その後は、いつの間にか北信越、全日本ろう連理事までに登りつめて行ったのには驚いた。そして、私が理事長で北信越ろうあ者大会次期開催候補地探しに苦労していた時に、降旗さんから「地元協会とサークルから合意を頂いた。」と箕輪町で快く引き受けてくれた。本当に有難かった。そんな降旗さんと全国大会で四国、北海道に行ったり、温泉などへ行ったことが深い思い出となった。

ご冥福をお祈り申し上げます。

佐藤 隆次 (松本ろう高等部 → 筑波大附属聾美術専攻科卒業、東京都在住)



2013 アジアろう野球シリーズ



【日本代表の佐藤隆次選手(40) 背番 22】

聴覚障害者による軟式野球のアジアナンバーワンを競う『アジアろう野球シリーズ』が5月25日(土)・26日(日)、江戸川区球場(東京都)で開催されました。アジア4チームですが、今年は台湾と中国は欠場し、日本と韓国との全2試合です。両日とも日本が勝利、優勝しました。韓国代表選手はなんと全員高校生!! 硬式野球の経験が長く、初回は軟式ボールにまだ慣れていない状況でエラーが多かったですが、2日目は慣れたのか大差ならず良い勝負でした。日本代表の選手は最強チームなので失敗を恐れず最後までプレーする事が出来ました。下記は結果(スコア)です。

【第1試合】							【第2試合】									
	1	2	3	4	5	6	R		1	2	3	4	5	6	7	R
KOP	0	0	0	0	0	0	0	JPN	0	0	0	2	0	0	0	2
JPN	5	0	0	2	2	X	9	KOP	0	0	1	0	0	0	0	1



『2013 アジア野球シリーズ』は、まず2012年10月に「アジアろう野球シリーズ選考会」を行い、走塁・遠投・打撃などの最終個人テストを受けました。「若い選手たちが多いので私は落選かなあ?」と思っていましたが、全日本“侍ジャパン”20名に私も選ばれました。凄く驚き、本当に嬉しかった!! 12月から5月までの間に月に1~3回で強化試合、強化合宿などを行い、寒さにも暑さにも負けずに“侍ジャパン”20名の選手たちと一緒に頑張ってプレーしました。私はキャッチャーと外野手の両方ともプレーしました。強化試合は月に1~2回、強敵なチームに大苦戦!! 敗因はチームのコミュニケーション不足でした。そのため、茨城県で4月に行われた強化合宿では、2日間、選手たちと一緒によいコミュニケーションを取るようにしました。その団結力を維持した状態で、今回の試合にのぞみ、優勝できました。私は感無量です!!

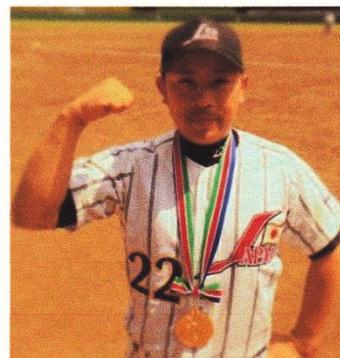


【5月25日付、読売新聞(地元のみ)】

次回は2016年に韓国で開催する予定です。私も頑張ってチャレンジします!!



【全日本より選ばれた“侍ジャパン”20名選手たち! 優勝だ!】



【金メダル! ガッツポーズ!】

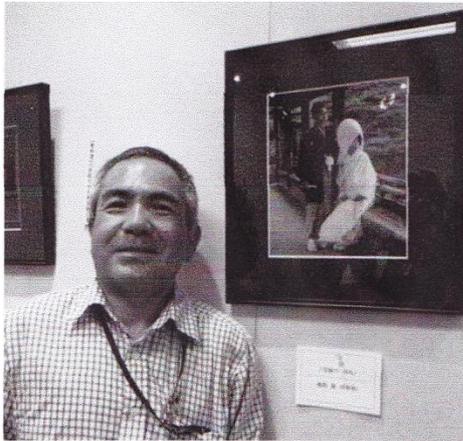
松本ろう学校同窓生 亀割諭さん おめでとうございます!

第61回全国ろうあ者大会in山形・第28回全国聴覚障害者写真コンテスト入賞作品展

第2部:課題写真部門～「衣・食・住」～ 準特選「山形県写真材料商組合賞」

亀割諭さん(下条村)

第1部:自由写真部門 入選「富士フィルム賞」



【審査総評】課題写真部門

寸評【準特選】「花嫁の一休み」

ピントがしっかりしている。仕上げもバックも人物の表情も良い。2人の顔のバックのぼやけ方も絶妙。

準特選「花嫁の一休み」



入選「梅雨の花見と舟下り」



(長野県聴覚障害者協会機関紙「ろうあ信州」7月号掲載)



松本ろう学校高等部3年 藤川彩夏さん おめでとうございます!

松本ろう学校高等部3年の藤川彩夏(ふじかわ・あやか)さんは、去る7月26日～8月4日、で開催された第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013・水泳競技で日本代表として出場しました。

去る7月16日(火)松本ろう学校同窓会役員一同より、母校の後輩となる藤川さんに御餞別を贈りました。

尚、水泳競技結果については、下記をご覧ください。藤川さんはこれからの水泳競技に向けて頑張っているようですが、私たち同窓会も応援しており、藤川選手のご活躍を期待しております。



藤川選手：水泳大会の競技結果

50m バタフライ	30 秒 71	7 位
100m バタフライ	1 分 8 秒 41	6 位
200m バタフライ	2 分 42 秒 74	7 位
200m 個人メドレー	2 分 39 秒 14	5 位
400m 個人メドレー	5 分 45 秒 4	5 位
400m メドレーリレー	4 分 50 秒 39	8 位
400m フリーリレー	4 分 25 秒 60	8 位

長野ろう同窓会と松本ろう同窓会との交流会を開催して

去る7月20日（土）～21日（日）千曲市「大田原マレットパーク」にて、長野ろう同窓会と松本ろう同窓会との交流会（マレットゴルフ大会）が行われました。



マレットゴルフ大会の記念写真



暑い中、汗を流して頑張って楽しいマレットゴルフを行った！



千曲市・ホテル杏泉閣にて、宴会（親睦会）の記念写真

信濃聾史だより(31) 宮城県立聴覚支援学校とヘレン・ケラー胸像

【宮城県立聴覚支援学校（旧宮城県立ろう学校）- 仙台校 - の沿革】明治35年10月「宮城県師範学校附属小学校内に啞生部」を開設→明治39年4月、菅原通氏宅（※国立東京盲啞学校訓導）に「私立啞人学堂」開設→大正3年、文部大臣の許可を受け「宮城県盲啞学校」設立→昭和23年4月、盲・聾教育の義務制施行として「宮城県立ろう学校」独立→平成21年4月、現在「宮城県立聴覚支援学校（幼稚部～専攻科）」へ校名変更になった。



①ヘレン・ケラー胸像（仙台校）



②ヘレン・ケラー胸像（小牛田校）

【宮城県立聴覚支援学校小牛田校の沿革】昭和32年4月「宮城県立聾学校小牛田分校」開設→「宮城県立小牛田聾学校」開校→「宮城県立小牛田ろう学校」改称→「宮城県立ろう学校小牛田分校」開校→平成21年4月、現在「宮城県立聴覚支援学校小牛田校（幼稚部と小学部のみ）」へ校名変更。※小牛田校（宮城県北部の幼児・児童を対象）の場所は、遠田郡美里町である。

①宮城県立聴覚支援学校には、ヘレン・ケラーが2度（昭和12年、23年）来校され、昭和30年7月に本校教諭・理容科担当の佐藤厚氏よりの寄贈で『ヘレン・ケラー胸像』を建立した。②小牛田校にも胸像（昭和41年建立）が建っている。

参考資料：宮城県立聴覚支援学校「学校要覧」、協力：塚越久美子・佐々木克彦（日本聾史学会役員：内田博幸）

（長野県聴覚障害者協会機関紙「ろうあ信州」第366号掲載）

ろう女性教員：山中福代先生のお墓参り



秋田市・順応寺に眠る山中氏お墓

山中福代（旧姓：松本）先生は、明治27年東京都生まれ、7歳の時に高熱のため聴力を失う。東京盲啞学校（旧筑波大学附属聾学校）に学び、同校裁縫科師範部卒業後、母校雇教師として勤務。その後宮城県立盲啞学校（旧宮城県立ろう学校）に勤務。ろう女性教員第一号でもある。宮城県立盲啞学校に17年間勤めた。母校卒業生・宮城県立盲啞学校教員の山中忠太郎先生と結婚したが、ご主人が病気のため逝去。宮城県立盲啞学校では口話法が導入され、昭和12年3月退職。昭和16年、私立松本聾啞学校経営の小岩井是非雄校長先

生の依頼で、松本聾啞学校（教頭兼教諭）として勤めた。

昭和46年10月24日に逝去、秋田市・順応寺に忠太郎氏と共に眠っている。

去る8月8日、秋田聾学校同窓会の会長の高橋雅人さんと役員の本山光矩さんと一緒に、秋田駅近くの順応寺を訪ね、山中先生のお墓にお花と線香を供えた。

※参考資料：筑波大学附属聾学校同窓会「同窓会史」他（内田博幸）

◆同窓会東京分会：定期総会報告

去る6月30日（日）午前10時より、東京都新宿区立・元気館にて東京分会定期総会が開催されました。出席者13名。昨年度活動報告・会計決算報告及び来年度事業計画・会計予算などを協議しました。企画が決まりましたら、改めてお知らせします。



◎連絡先：会長福与征夫（FAX03-3916-8432）

◆同窓会東海分会：校舎跡記念碑巡りのお知らせ

- ・日 時：平成25年10月19日（土）～20日（日）
- ・場 所：長野県松本市内
- ・内 容：10/19（土）交流会 10/20（日）校舎跡記念碑ほか巡り
※別紙チラシをご覧ください。

◎連絡先：会長新海和子（FAX052-652-3737）

○同窓会 会費納入のお願いについて

未納の方は、下記の通り今年12月末までに納めてください。

平成25年度 ・ 単身会費 1,000円 ・ 夫婦会費 1,500円

※郵便払込取扱票を同封いたしますので、近くの郵便局で会費をお振込みください！



【あ と が き】

・日ごろは同窓会活動に対して、暖かいご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。来る10月13日（日）はと祭（一般公開）がありますので、是非ご参加ください。また同窓会記念樹の標柱（石）を建て替えましたので、わが母校、松本ろう学校にぜひご来校ください。心からお待ちしております。

（同窓会事務局長 内田博幸）